

国保会計 今年度も4億6千万円の黒字見込み

基金残高は5年で5倍 1億7千万から9億円に

宇治市は、国民健康保険運営協議会（「運協」）に2013年度の決算見込みを示しましたが、今年度も4億6千万円の黒字が見込まれます。2009年度から5年連続の黒字となります。

昨年「運協」に、「2012年度は3億2千万円の黒字見込み」と報告していましたが、結果は7億2千万円もの黒字となり、今年度の黒字額も更に増える可能性もあります。

市は黒字分を基金に積み立て、2009年度末に1億7千万円であった基金は、2013年度末で9億円を超え、5倍になっています。

しかも、2012年度の一般会計からの法定外繰入は、0円です。

国保運営協議会は、「据え置き」を答申

共産党議員団は、来年度の国保事業の運営について、市長の諮問を受け審議をしていた「国保運協」に大幅な黒字が続いており、値下げの答申を求めるとの申し入れを行いました。運協は「据え置き」を答申しました。



2011年度には、別表のとおり保険料の引き上げが行われましたが、その増収分は1億4千万円でした。この年度は、4億3159万円の黒字でしたから、結局、値上げをしなくても黒字でした。

国民健康保険の決算状況

	国保料(値上げ率)		黒字額	年度末基金
	医+後	介		
2009年度	3.99%	5.42%	5億5,414万円	1億7,206万円
2010年度	4.63%	12.93%	4億7,295万円	3億8,380万円
2011年度	3.63%	22.34%	4億3,159万円	4億8,202万円
2012年度	据置	据置	7億2,377万円	6億4,472万円
2013年度	据置	据置	4億5,945万円	9億4,499万円

医：医療分、後：後期高齢者支援金分、介：介護分

20世帯に1世帯 正規の保険証使えず

保険料が、高すぎて払いたくても払えない世帯への短期証発行は、1282世帯、資格証交付は、260世帯。資格証では、窓口で一旦全額支払わなければなりません。お金の切れ目が命の切れ目になりかねません。

市民のねばり強い運動と議会論戦で

長年、新婦人の会のみなさんや市民のみなさんが要望し続けてきた「子ども医療費助成の拡充」について、今年9月から、通院についても小学校卒業まで200円を超える自己負担分へ助成がされることになりました。

共産党議員団は、これまでも条例提案をしたり、拡充を求め、昨年の12月定例会でも、6500万円あれば実現できると拡充を求め、市は「子育て支援策を総合的に実施する中で検討したい」と答弁をしていました。

日本共産党 議員団だより

2月号外 発行 2014.2.16

日本共産党宇治市会議員団
宇治市宇治琵琶33市役所内
電話22-3141 FAX 24-7884